

STAGE+を楽しむ(51)(HP 収載)

—アリス・紗良・オット—

1. 始めに

前報(50)に引き続き、STAGE+のアリス・紗良・オットの演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、アリス・紗良・オットによるベートーヴェンの作品のアルバムの演奏を選びました。

演奏:

アリス・紗良・オット (ピアノ)

カリーナ・カネラキス指揮オランダ放送フィルハーモニー管弦楽団

曲目:

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン ピアノ協奏曲 第1番 ハ長調 作品15

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

ピアノ・ソナタ 第14番 嬰ハ短調 作品27の2《月光》

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン エリーゼのために WoO 5902:46

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン 11のバガテル 作品119

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

バガテル ハ長調 WoO 54《喜びと悲しみ》

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン アレグレット ロ短調 WoO 6102:09



アリス・紗良・オットとカネラキス指揮オランダ放送フィルハーモニー管弦楽団のピアノ協奏曲 第1番は、カネラキス指揮オランダ放送フィルハーモニー管弦楽団のベートーヴェンらしい豪快なオーケストレーションをバックにアリス・紗良・オットが軽やかに演奏しています。残念なことに、録音がそれほどよくなく、オーケストラの音に粗さが残ります。

ピアノ・ソナタ第14番とエリーゼのために以下の小品は、アリス・紗良・オットの女性らしい繊細なピアノリズムを聴かせてくれます。

一連の仮想アースや LAN iSilencer の効果により、録音のクオリティの割には、2度ほど演奏を聴いているアリス・紗良・オットの繊細な演奏スタイルの印象を思いおこさせてくれました。

以上